施設概要

（令和６年４月１日現在）

施設名		開館時間	
白井コミュニティセンター		午前９時～午後９時	
所在地	〒２７０－１４２２ 白井市復１４５８－１	併設施設	白井児童館
TEL	０４７－４９１－１５０５	FAX	０４７－４９１－１５０３
メール	mail@shiroi-com10.com		
休館日	火曜日・国民の休日 １２月２９日～翌年１月３日	駐車場	敷地内１７台（身障者用含） 第２駐車場３０台程度
職員構成 R５年４月現在	センター長１名　事務職１名　事務職(非)２名　児童厚生員１名　児童厚生員(非)３名 夜間管理(非)２名　学習支援者(非)１名　合計１１名		

貸出施設

１時間あたりの施設使用料（社会教育認定団体は２分の１）

施設名	定員	９：００～２１：００	付帯設備
和室１	１８ 名	２５０ 円	座卓・座布団
和室２	１８ 名	２５０ 円	
調理室	２４ 名	７２０ 円	テーブル４台・椅子２４脚 調理用具１式・ホワイトボード
会議室１	３０ 名	３５０ 円	机・椅子・音響設備・ホワイトボード 可動式スクリーン(会議室２)・可動式演台
会議室２	３０ 名	３５０ 円	
工芸室	１２ 名	３５０ 円	机３台・椅子１８脚・ホワイトボード
多目的ホール	２００ 名	９７０ 円	卓球台４台・卓球用ネット・音響設備 支柱とネット(バドミントン用)・得点板 可動式ホワイトボード・可動式舞台６台

陶芸窯使用料

陶芸窯	１回の使用につき ３，７９０円	棚板・支柱

※営利目的使用の場合は、上記金額の３倍となります。

その他施設	２色刷り印刷機・アートスペース１階・２階
貸し出し可能備品	館内限定：TV・プロジェクター・DVDブルーレイプレイヤー・延長コード・ＣＤラジカセ プロジェクターワゴン・陶芸用具一式・可動式ホワイトボード

令和5年度　公民館等団体別利用状況
（白井コミュニティセンター）

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計		営利		窯
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
4	14	194	94	788	2	12	0	0	31	2,195	8	22	149	3,211	4	71	0
5	13	169	89	681	3	16	1	4	28	197	8	72	142	1,139	4	46	0
6	14	329	100	791	2	14	1	4	33	252	9	65	159	1,455	2	12	14
7	15	319	90	841	4	29	2	7	27	409	7	53	145	1,658	3	23	11
8	11	139	68	606	0	0	1	4	31	2,442	7	79	118	3,270	2	21	0
9	18	291	85	546	2	14	2	7	22	222	12	51	141	1,131	7	56	0
10	16	260	97	778	12	110	1	3	25	227	10	94	161	1,472	8	58	3
11	19	287	87	798	5	28	2	9	22	200	9	59	144	1,381	4	51	8
12	20	384	78	760	5	61	1	3	13	174	4	25	121	1,407	5	55	12
1	16	302	79	635	6	32	2	6	18	154	3	7	124	1,136	2	13	0
2	18	405	74	596	9	68	2	6	18	182	5	41	126	1,296	4	23	8
3	18	521	85	852	2	12	0	0	29	1,424	10	66	144	61	6	126	0
合計	192	3,600	1,026	8,672	52	396	15	53	297	8,078	92	634	1,674	21,433	51	555	56

□の合計が必ず一緒になるように
各部屋の年間利用率を記入する欄を追加しましたので忘れずに記入してください。
年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。（小数点第2位を四捨五入）

令和5年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数（件）	利用人数（人）	年間利用率（%）
会議室1・2	90	3,737	9.9
会議室1	102	596	16.6
会議室2	107	1,168	18.9
和室1・2	151	1,125	11.2
和室1	104	804	18
和室2	7	340	11.8
調理室	106	1,157	10.9
工芸室	160	1,047	12.2
電気陶芸窯	56		
多目的ホール	847	11,459	50.4
合　　計	1,730	21,433	

令和5年度　白井コミュニティセンター　事業報告

●白井市が目指す将来像（第５次総合計画基本構想から）

「ときめきと　みどりあふれる　快活都市」

●目指す将来像を実現するために（第５次総合計画後期基本計画から抜粋）

戦略１「若い世代定住プロジェクト」

・ゆとりある暮らしを感じるまちづくり

・働く場を生み出すまちづくり

・子育てしたくなるまちづくり

戦略２「みどり活用プロジェクト」

・「かかわれる農」のまちづくり

・みどりを育み活かすまちづくり

戦略３「拠点創造プロジェクト」

・都市拠点がにぎわうまちづくり

・地域拠点でつながる健康なまちづくり

・拠点を結ぶまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、①「つどう」②「まなぶ」③「むすぶ」④「つくる」⑤「さがす」の公民館の代表的な５つの機能を生かした事業展開を行いました。

１．運営方針

（１）全体の運営方針

テーマ:活動拠点として（ここからはじめよう）利用者の平等な利用とサービス向上に努め、効率的な管理運営を行う。併せて地域の拠点として、市民と行政と団体とのコーディネーターの役割を担い、「わがまち白井」を合言葉とし、まちづくりに参加・協働する。課題に対しては、アンケートや利用団体連絡協議会等で話を伺いながら、センター内で共有・検討し、少しでも参加者が増えるよう努めます。

（２）分野別方針

	運営目標
市民の連帯意識の向上（１）	①地域の拠点として市民交流や世代間交流を推進する ②市民や自治会等コミュニティ事業へ施設提供を図る ③利用団体の発表の場を推進する ④地域文化を知り、地域に愛着を持つ意識づくり
地域コミュニティの活性化（２）	①市民の地域活動育成を推進する ②拠点として地域住民の利用を推進する ③地域文化・食文化を推進する ④市民団体や市と連絡調整しコミュニティを図る

趣味や生きがいづくりの向上（3）	①陶芸窯・アートスペースの利用を促進する ②各種スポーツ（館内で出来るもの）を推進する ③趣味や生きがいづくりを推進する ④心豊かで、穏やかな生活を送るきっかけを作る

（3）令和5年度　重点に実施した項目（講座・事業など）

パートナーシップを構築、いろんな人とつながろう

2．公民館　講座等実施報告

（1）学習講座事業

対象	学級・講座名		回数	参加人数
市民の連帯意識の向上（1）	元気なうちに考えよう！（全2回） 自分と大切な家族の為の終活講座	①④	2 回	延べ15 人
	花壇の花植 （今井の桜保全プロジェクト）	①②	2 回	延べ10 人
	金山落生き物観察会 （今井の桜保全プロジェクト）	①②	1 回	37 人
	金山落 ・下手賀沼小森揚水機場周辺の外来水生植物駆除事業（全5回） （今井の桜保全プロジェクト）	①②	5 回	延べ137 人
	金山落しの桜並木をクリーンアップ （今井の桜保全プロジェクト）	①②	1 回	42 人
地域コミュニティの活性化（2）	梨講座 ～まだまだ知らない梨の魅力～	③	1 回	21 人
	パティシエが教える ～お菓子作り教室～	②③	1 回	10 人
	サロン クローバー （地区社協と共催）	①②④	7 回	延べ205 人
	第5回ワーキング・キッズ・アドベンチャー（W・K・A）	①④	1 回	395 人
	W・K・A説明会	①④	1 回	17社32 人
	W・K・A事前準備	①④	1 回	35 人

	W・K・A反省会	①	1 回	8 人
趣味や生きがいづくりの向上（3）	ヨガ講座（全3回）	②③④	3 回	延べ50 人
	書道講座（全2回）	③④	2 回	延べ15 人
	座禅体験会	③④	1 回	17 人
	健康体操（全4回）	③④	4 回	延べ41 人
	秋のしろい散策 ～宿場の歴史を紐解く～	③④	1 回	10 人
	第8回街コン　ボドゲ恋活 ～素敵な出逢いを～	④	1 回	11 人
	徳川家康の関東入国と房総 ～豊臣期における房総の態様～	③④	1 回	20 人
	新年に向けて お正月の寄せ植えをしませんか	③④	1 回	10 人
	大人のドローン体験会	③	1 回	（2部制）16 人

（2）講座以外に行った事業

・春のそろばん祭り（４月）（後援事業）
・夏のそろばん祭り（８月）（後援事業）
・コミセンフェスティバル
・利用団体連絡会

（3）情報の提供

・コミュニティセンターで実施する事業の情報提供
（広報しろい・ホームページ・ブログ・フェイスブック・インスタグラム・コミセン通信
市内公共施設にポスター掲示・チラシ配布）
・コミセン通信を白井第一小学校、白井中学校・白井保育園・ひまわり保育園から各家庭に配布）
・コミセン通信を近隣住宅配布、白井・下長殿自治会の各班で回覧、近隣商店に設置

（4）施設の提供

・利用者に平等・公平な施設の利用促進、貸館業務の充実
・地域のコミュニティの核となる場所の提供

（5）「withコロナ」「afterコロナ」時代に向けた対応

・市内施設で統一した感染対策ガイドライン項目の変更表を確認し取り組む

事業活動

事業名	元気なうちに考えよう！自分と大切な家族の為の終活講座（全2回）
対　象	市内在住・在勤一般
参加人数	延べ１５人

事業の課題と目標

課　題

・終活に関する正しい知識を家族に迷惑をかけないように

目　標

・残りの人生を不安なく明るく前向きに生きるため

期　間	5月15日・22日（月）10:00～12:00	回　数	2回
場　所	会議室		

事業参加者への配慮等

・課題についていけるかの確認

・なるほど講座をお願いした。

・内容に合わせて3人の方に講師を務めていただいた

・法律的に少し難しいところがあるので、和やかな雰囲気の講座にした

事業の成果（課題や目標に対して）

・終活支援ノートを作成する趣旨を学んだ

・「備えることの大事さ」を改めて感じたようでした

・介護が必要になったときやもしもの時のために家族と話し合うこと

備　考

事業報告

No	日　程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	5月15日	1．白井市終活支援ノートの配布 2．介護サービスの目的と種類 3．人生の最後に受けたい医療	・ノートの保管と活用 ・伝えておきたい私のこと
2	5月22日	1．財産管理が出来なくなったとき 2．もしもの時は 3．個別質疑対応	・もしもの時が来たら考えられない、だから今、　考える
3			
4			
5			

事業活動

事業名	今井の桜保全プロジェクト		
対　象	市内在住・在勤一般		
参加人数	延べ248人		

事業の課題と目標

課　題

・「今井の桜」という市内桜の名所にもかかわらず、老朽化・樹木の病気が進み元気な木が少ない

・集中豪雨などで名内川が氾濫することが知られていない

・学区外や若い人たちに知られていない

目　標

・今井の桜並木の現状を広く市民や近隣の人に把握してもらうこと

・原風景を後世に残すことを考えるきっかけ作り

期　間	令和5年4月～令和6年3月	回　数	8回
場　所	今井の桜並木（名内川）・下手賀沼・コミセン花壇（環境）		

事業参加者への配慮等

・川（金山落し）に落ちないように注意を促し、親と一緒に心を配った

・花壇が道路沿いにあるので、安全管理に気を配った

・白井高校にスタッフで説明に行き、外来生物植物駆除に白井高校生17人と先生4人参加した

事業の成果（課題や目標に対して）

・子供たちが環境に興味を持ってもらうこと

・高校生が夢中になって作業してくれた

備　考

・社会福祉法人フラットに通っている子どもたちと一緒に作業をします

・手賀沼流域フォーラム・こどもエコクラブ合同企画

事業報告

No	日　程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	6月30日	今後の事業計画について ・9月30日一般公募による駆除・10月1日～4日市民団体と駆除事業者による駆除・11月1日白井高校生に外来水生植物繁茂の現状についてレクチャー・11月3日白井高校生と駆除作業	水田を守り、水資源を保全するため外来水生植物の駆除・啓発をする
2	8月17日	下手賀沼水環境保全事業・関係機関へ今年度の説明と協力依頼・手賀沼土地改良区との面談報告・手賀沼農地防災事務所との面談報告・柏市河川排水課へ問い合わせ報告	水田を守り、水資源を保全するため外来水生植物の駆除・啓発をする
3	9月30日～10月2日	金山落しエリアB・C地区駆除作業	水田を守り、水資源を保全するため外来水生植物の駆除・啓発をする
4	11月1日	11月3日の駆除作業に参加する白井高校生へ事前レクチャー	水田を守り、水資源を保全するため外来水生植物の駆除・啓発をする
5	11月3日	金山落しエリアA地区駆除作業、白井高校生参加	水田を守り、水資源を保全するため外来水生植物の駆除・啓発をする

学習報告

No	日　程	学習主題・内容・方法等	事業のねらい
6	9月24日	金山落今井地区の生き物を採取観察する	小学生親子に馴染みの薄い手賀沼に関心を持ってもらうと共に、今井の桜並木の現状を知ってもらうこと
7	11月26日	名内川沿い（今井の桜並木）をみんなで一緒にゴミ拾い。金山落の土地改良事業進捗状況を説明。ナガエツルノゲイトウ繁茂の現状と今後の取組について説明する。平塚延命寺の枯山水を見学	白井市民に、金山落しの進捗情報を説明し、今井の桜並木の保全について関心を持ってもらうよう啓発する
8	7月5~15日	花壇の花植 フラット（障害福祉施設）の医療的ケアの一つとして一緒に花植を行う	医療ケアの一環とセンター前を花で明るく利用者を迎えること
9			
10			

事業活動

事業名	梨講座～まだまだ知らない梨の魅力～		
対　象	市内在住・在勤		
参加人数	21人		

事業の課題と目標

課　題

・昨年シーズン後に行い、今年はシーズン前に行いたい

・市特産の梨について詳しく知らない

・しろいの梨は何で有名か？

・後継者不足

目　標

・梨の歴史を知ってもらうこと

・梨を知り、梨を好きになってもらうこと

期　間	7月3日（月）10:00～11:30	回　数	1回
場　所	会議室1・2		

事業参加者への配慮等

・わかりやすく説明していただくようお願いした

事業の成果（課題や目標に対して）

・初めて知ったことも多く熱心に聞いていた

・梨のでき始める時期に開催してくださいとの声が多くあった

・歴史や近年の梨の生産量などについて、スライドを見ながら説明を受けた

備　考

事業報告

No	日　程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月3日	講師が講座で伝えたいこと ・しろいの梨と梨について ・梨品種色々 ・おいしい梨の見分け方 ・食べ方と保存法	・梨のシーズンが始まる前に、おいしさの秘密と品種について学んでもらい、もっと梨を好きになってもらいたい
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	パティシエが教える　お菓子作り教室		
対　象	市内在住・在勤		
参加人数	10人		

事業の課題と目標

課　題

・お菓子を作ったことがない

・自分で作ったお菓子を食べたい

目　標

・お菓子作りの楽しさを知り興味を持ち、家でも作ってほしい

期　間	令和6年1月27日（土）10：00～12：00	回　数	1回
場　所	調理室		

事業参加者への配慮等

・講師からわかり易く「家でも作れるレシピ」を作成してくれた

・講師がわかり易く一人一人に声かけてくれた

・講師との数回による打合せ

事業の成果（課題や目標に対して）

・頂いたレシピで家に帰っても作るとの声が多かった

備　考

事業報告

No	日　程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	1月27日	求肥から手作りして大福を作る 1．レシピに沿ってフルーツ大福を作る 2．2人一組になり、2組ずつ講師と一緒に求肥を作る 3．アシスタントと一緒に餡を包む 4．講座の最後にティータイム	お菓子を通して趣味や生きがいにつなげるよう、きっかけを作る
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	ワーキング・キッズ・アドベンチャー
対　象	市内小学生
参加人数	延べ470人

事業の課題と目標

課　題

・市内の企業（工業団地・生活圏以外）が住んでいる人に知られていない

・就職先が市外・首都圏に向いている

・初めて小学校で行うことに

目　標

・子供たちに楽しみながら社会の「仕組み」や「職業」を知ってもらうこと

・子供達の好奇心、自立心をかきたてる現実的な地域（地元）づくり、体験づくり

・未来を担う人の為の地元企業が協力して、未来を創る機会

期　間	令和5年7月29日（日）9:30～14:30	回　数	1回
場　所	白井市白井第一小学校		

事業参加者への配慮等

・怪我や事故が起こらないよう、全員で気を配った

・準備、片付け等がスムーズに進むように手配を怠らなかった

・来校した子供たちが楽しく学べるように実行委員会で話し合った

事業の成果（課題や目標に対して）

・地域（企業）・学校（白井高校）・行政（産業振興課）・センターとの連携、交流が進みました

・子供達も色々な会社が、近くに存在することを改めて確認したようです

・社会の仕組みの一端を感じ取ってもらえた

・子供達がよりリアルな職業を体験することで、勉強をする意味を知り、学習意欲を育てることの一助になった

・小学生を対象にしたので、保護者に知ってもらえた

備　考

事業報告

No	日　程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月21日	参加企業説明会 議題：職業体験説明　お仕事掲示板掲載原稿確認　各企業体験枠数　パスポート（参加証）見本　予約受付表　各企業駐車スペース確認　使用備品・備品持ち込み品一覧確認　準備・片付け協力企業一覧確認　ブース配置図の確認、	子供達に楽しみながら社会の「仕組み」や「職業」を知ってもらうこと
2	7月29日	仕事の体験では①職業の内容を伝える～どのような仕事なのか、1日の仕事の流れなど～②仕事の「やりがい」「大切にしていること」を伝えてから体験に入るように、他に将来に役立てるように参加企業が各自で考えた	子供達に楽しみながら社会の「仕組み」や「職業」を知ってもらうこと
3	9月13日	１．反省会と令和６年に向けて ２．第2小学校での打ち合わせについて	子供達に楽しみながら社会の「仕組み」や「職業」を知ってもらうこと
4			
5			

事業活動

事業名	ヨガ講座（全3回）		
対　象	市内在住・在勤一般		
参加人数	延べ５０人		

事業の課題と目標

課　題

・筋力低下がみられる。

・興味はあるけど取り組むのが難しい

目　標

・ヨガを通して心と身体を整え、穏やかな毎日を過ごすお手伝い

・身体のゆがみを改善すること

・自律神経のバランスを整える

期　間	４月13日・２０日・２７日（月）13:30～15:00	回　数	３回
場　所	多目的ホール		

事業参加者への配慮等

・ヨガとはどういうものかを講師より説明

・簡単なポーズからお願いした。

・自宅でも出来るように資料を見ながら教わった

・自宅でも出来るように講師が資料を作成した

・講師が一人一人見てくれた

事業の成果（課題や目標に対して）

・定員になってからも申し込み電話が多数あって関心の高さが伺われた

・ヨガはいくつになってからでも始められること

・ヨガを通して心と身体を整え、穏やかな毎日を過ごすお手伝いが出来た

備　考

事業報告

No	日　程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月13日	１．基本のヨガのポーズその１①ローランジ②ハイランジ③板のポーズ（プランク）④下向きの犬のポーズ（アドムカシュヴァナーサナ）	・ヨガをすることで、自分自身の心と身体に向き合い、気持ちを落ち着かせ、穏やかな気持ちになっていただくこと
2	4月20日	２．ヨガポーズその２（ヒップスクエア/骨盤正面向き）①山のポーズ（タダーサナ）②両手を強く上にあげるポーズ（ウードヴァハスターサナ）③椅子のポーズ（ウトｳカターサナ）④半分の前屈のポーズ（アルダウッタナーサナ）	・ヨガをすることで、自分自身の心と身体に向き合い、気持ちを落ち着かせ、穏やかな気持ちになっていただくこと
3	4月27日	３．ヨガポーズその３（ヒップオープナー/骨盤を開く①戦士のポーズ２（ヴィラバトラーサナ２）②体側を伸ばすポーズ（パールシュヴァコナーサナ）③三角のポーズ（トリコナーサナ）④立位の開脚前屈のポーズ（プラサリータパドッタナーサナ）⑤おやすみ（やすらぎ）のポーズ（シャヴァーサナ）	・ヨガをすることで、自分自身の心と身体に向き合い、気持ちを落ち着かせ、穏やかな気持ちになっていただくこと
4			
5			

事業活動

事業名	書道講座（全2回）気軽にチャレンジ！楽しい書！		
対　象	市内在住・在勤・18歳以上		
参加人数	延べ１５人		

事業の課題と目標

課　題

・書道に興味はあるけど学ぶ機会がない

・うまく書きたい

目　標

・趣味や生きがいのきっかけ作り

期　間	6月24日・7月1日（土）10：00～12：00	回　数	2回
場　所	会議室２		

事業参加者への配慮等

・講師と事前に打ち合わせを繰り返し、わかり易く話してもらいました

・書の歴史から伝えてもらいました。

事業の成果（課題や目標に対して）

・書道の歴史をわかり易く説明された

・書道体験の時間は個々に指導してくれました

備　考

事業報告

No	日　程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	6月24日	講師が用意した資料を見ながら習字・書道・書写の違い・書道の歴史などを学び、お手本を見ながら書道体験	・書道を通して趣味や生きがいを見つけるきっかけ作り
2	7月1日	お手本を見ながら唱導体験。一人1作品を選んで最後に皆の作品で展示会をした	・書道を通して趣味や生きがいを見つけるきっかけ作り
3			
4			
5			

事業活動

事業名	座禅体験in佛法寺
対　象	市内在住・在勤一般
参加人数	17人

事業の課題と目標

課　題

・気持ちを整えたい方が多い

・座禅を経験したことのない方

目　標

・座禅を知りお寺を気軽に訪れること

・日常の生活の中に「禅」を取り入れ、心静かに自分を整えること

期　間	8月26日（土）8:00～9:00	回　数	1回
場　所	天台宗　佛法寺		

事業参加者への配慮等

・事前に住職と打合せをして、講話もわかりやすくお願いした

・スタッフも多めに準備した

事業の成果（課題や目標に対して）

・土曜日の朝、座禅体験で心を落ち着けて有意義に過ごしていただくことが出来た

・ストレスの軽減に繋がる

備　考

事業報告

No	日　程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	8月26日	1．佛法寺和尚に続いてお経をあげる 2．軽くストレッチ 3．足の組み方、手の組み方、目線呼吸法などを教わり座禅懐紙	心と身体のリラックスやリフレッシュを促すこと。心と身体の健康を保ち、豊かな毎日を過ごすこと。
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	健康体操講座（全4回）		
対　象	市内在住在勤一般		
参加人数	延べ４１人		

事業の課題と目標

課　題

・日頃から運動不足を感じてる方が多い

・体力をつけたい方が多い

・ストレスを発散したい方が多い

目　標

・楽しみながら体を動かして穏やかな生活を送るきっかけ作り

・老化防止に協力

期　間	9月８日・15日・22日・29日（金）10:30～11:30	回　数	4回
場　所	多目的ホール		

事業参加者への配慮等

・講師が皆さんにわかり易く明るくテンポよく指導して、楽しく行えるよう指導した

・楽しく健康体操ができるよう雰囲気づくり

・講師が一人一人に声かけをしてわかり易く教えていただいた

事業の成果（課題や目標に対して）

・参加者が楽しく健康体操を経験した

・色々な筋トレやストレッチの仕方を楽しく学べた

・脳トレしながら体を動かすことができた

備　考

事業報告

No	日　程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	9月8日	健康体操 ・椅子に座ってできる簡単な運動や椅子に手をかけて立った状態での筋トレストレッチなどを行う	・運動不足を感じている方、ストレスを発散したい方に家でもできる運動を教わり穏やかな生活を送るきっかけづくり
2	9月15日	健康体操 ・毎日やってほしいストレッチ ・毎日やってほしいエクササイズ①	・運動不足を感じている方、ストレスを発散したい方に家でもできる運動を教わり穏やかな生活を送るきっかけづくり
3	9月22日	健康体操 ・毎日やってほしいストレッチ ・毎日やってほしいエクササイズ②	・運動不足を感じている方、ストレスを発散したい方に家でもできる運動を教わり穏やかな生活を送るきっかけづくり
4	9月29日	健康体操 ・毎日やってほしいストレッチ ・毎日やってほしいストレッチ① ・毎日やってほしいストレッチ②	・運動不足を感じている方、ストレスを発散したい方に家でもできる運動を教わり穏やかな生活を送るきっかけづくり
5			

事業活動

事業名	秋の白井散策~宿場の歴史を紐解く～		
対　象	市内在住・在勤		
参加人数	１０人		

事業の課題と目標

課　題

・江戸時代は鹿嶋道の宿場として旅籠や茶屋で賑わった白井を知らない

・地域の魅力を知らない

目　標

・地域の魅力を発見し、まちづくり活性化に生かすこと

・歴史をたどり地域への愛着を醸成する

期　間	10月１９日（木）9:30～12:00	回　数	1回
場　所	調理室・コミセン周辺		

事業参加者への配慮等

・レクチャーを歩く前に行い白井宿を紐解く

・しろいふるさとガイドの会からお手伝いに数名

・道幅が狭く、交通量が多いところがあったので、最後尾を歩くようにして、注意をしてた

事業の成果（課題や目標に対して）

・歴史に興味がある人が多く参加したのでとても良い講座になった

・白井宿を教わりながら歩くと色々な発見があった。

・参加した皆さんも歴史を通して色々と学び、とても良い経験をしたと

備　考

事業報告

No	日　程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	10月19日	1．レクチャー（事前知識＋クイズ） 2．白井宿の歴史を辿り江戸時代に思いを馳せた	・宿場があった時代を巡り地域への愛着を育む
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	ボドゲ恋活～素敵な出逢いを～		
対　象	20~45歳　男女8人		
参加人数	男６人女５人		

事業の課題と目標

課　題

・出会いが少ない

目　標

・出会いを創出して白井市に住んでもらう

期　間	11月25日（土）16：00～19～00	回　数	1回
場　所	西白井アンズハウス		

事業参加者への配慮等

・皆さんが楽しく過ごせるように配慮した

・ボードゲームをしながら楽しく出会いの場を提供

・実行委員会4回13人

事業の成果（課題や目標に対して）

・カップリングは敢えて行わず、気に入った方とは連絡先を交換してもらう

備　考

事業報告

No	日　程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	6月11日	6月11日～10月19日（実行委員会4回） コロナ過で新しい出会いが少なくなってしまった若い世代の方へ向けて、どうアプローチしてゆくかなど	将来白井市に居住することを期待する
2	11月25日	ボドゲで恋活 １．当日の流れを説明 ２．ボードゲーム開始 ３．自由にフリートーク ４．アンケート記入 ５．フリーボードゲーム	将来白井市に居住することを期待する
3			
4			
5			

事業活動

事業名	歴史講座　徳川家康の関東入国と房総～豊臣期における房総の態様～		
対　象	市内在住・在勤一般		
参加人数	20人		

事業の課題と目標

課　題

・徳川家康と房総の繋がりについて詳しく知らない

目　標

・徳川家康が関東へ入国する歴史を知ってもらうこと

・豊臣政権下の徳川家康の政治的立場を知ってもらうこと

期　間	10月30日（月）13:30～15:30	回　数	1階
場　所	会議室2		

事業参加者への配慮等

・徳川家康関東入国と房総の歴史をわかり易く伝えるには、講師と打合せを数回する

・現在NHKの大河ドラマで「どうする家康」が放送されているので、役柄に例えて話をしてもらう

・講話終了後に質疑応答の時間を作ってもらう

事業の成果（課題や目標に対して）

・初めて知ったことも多く熱心に聞いていた

・千葉県（下総・上総）の歴史に関心を持ってもらうことができた

備　考

・アンケートでは全員とても満足していた

事業報告

No	日　程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	10月30日	～豊臣期における房総の態様～ １．徳川家康の関東入国 ２．豊臣期徳川関東領国と下総・上総両国 ３．豊臣期徳川関東領国の経営 おわりに～豊臣から徳川の時代へ	徳川家康の関東入国房総の態様を知り、歴史を好きになってもらうこと
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	新年に向けてお正月の寄せ植えをしませんか		
対　象	市内在住・在勤一般		
参加人数	10人		

事業の課題と目標

課　題

・お正月の寄せ植えをしたことがない

目　標

・新しい年を気持ちよく迎えてほしい

期　間	12月7日（木）10:00～12:00	回　数	全3回
場　所	多目的ホール		

事業参加者への配慮等

・先生の説明が他の方にも伝わるよう、伝達して回った

・花の種類や金額等講師と打合せをした

事業の成果（課題や目標に対して）

・葉ボタンは不老不死、不老長寿の意味がある

・とても楽しそうに寄せ植えをして、自分の作品を前にして大変喜んでいる声が多かった

備　考

事業報告

No	日　程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	12月7日	紅白葉ボタンとシクラメンを中心に寄せ植えをしていく 1．鉢の下に軽石をひき、土を少し入れてからポットのままどこに植えていくかを考えてから植えていった	新しい年を気持ちよく迎えてほしい
2			
3			
4			
5			

事業活動

事業名	大人のドローン体験会		
対　象	市内在住・在勤		
参加人数	16人		

事業の課題と目標

課　題

・ドローン体験をしてみたい

・ドローンの操縦は難しそう

・ドローンの活用を知りたい

目　標

・ドローンを正しく知る

期　間	令和6年2月17日（土）①10：00～11：00②11：00～12：00	回　数	2回
場　所	多目的ホール		

事業参加者への配慮等

・講師補助が5人来て頂いた

・講師と数回にわたり打ち合わせをした

事業の成果（課題や目標に対して）

・最新の活用方法等に興味を持った方が多く、資格を取ろうと聞いていた

・実機の操縦とシュミレーターを体験した

備　考

事業報告

No	日　程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	2月17日	1．最近のドローンの活用例や資格について 2．実機の操縦とシュミレーターの体験	ドローンの活用について学ぶ
2			
3			
4			
5			